



# 新潟県病院局

## R8年度 薬剤師募集要項

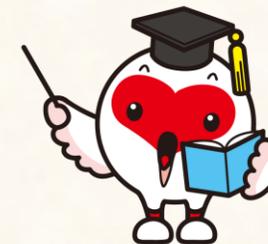
(詳細は右下QRコードからご確認ください)

- 雇用形態 正規職員
- 配属先病院 新潟県立病院等  
(妙高病院、中央病院、柿崎病院、十日町病院、精神医療センター、津川病院、がんセンター新潟病院、新発田病院、坂町病院等)
- 選考方法
  - ・第1次選考 SPI3 (基礎能力検査・性格検査)  
※テストセンター方式 (自宅等のパソコンで受験可能)
  - ・第2次選考 面接 (1回)  
※会場は新潟県庁内会議室を予定
- 勤務時間 原則として、午前8時30分から午後5時15分 (週休2日制)
- 給与 (モデル年収)
  - ・24歳：約462万円 (新卒)
  - ・30歳：約565万円
  - ・40歳：約733万円
  - ・55歳：約928万円 (薬剤部長)※上記モデル年収には給料、期末勤勉手当、各種手当 (住居手当27,000円/月、通勤手当2,900円/月、時間外勤務手当10時間分/月) が含まれています。
- 昇給 年1回 (1月)
- 賞与 年2回 (6月、12月)

- 休日休暇 年次有給休暇20日 (採用初年度は15日)
- 子育て支援制度
  - ・育児休業制度 (子どもが3歳に達するまで取得可能)
  - ・部分休業 (子どもが小学校就学まで1日最大2時間取得可能)
- 応募方法  
右下「採用に関するお問い合わせ」のQRコードから応募可能 (受験案内等も確認できます)

### 参考 (年度別合格者)

- 令和7年度：3人
- 令和6年度：2人
- 令和5年度：9人



### 採用に関するお問合せ

- 担当者：新潟県病院局総務課  
成澤 正能
- 電話：025-280-5561
- メール：ngt400010@pref.niigata.lg.jp
- FAX：025-285-3843





# 新潟県立妙高病院



## 病院データ

- 開設者 新潟県
- 院長 岸本 秀文
- 薬剤部長 天井 誠
- 病床数 47床
- 診療科目  
内科、脳神経内科、小児科、整形外科、泌尿器科、  
眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、精神科

## 当院の特徴

- ①小規模なので部署間の敷居が低い。  
→薬剤以外の知識も深めることができる!!
- ②近年、外国人観光客の受診が増加。  
→英会話の経験も積める!!



※私は英語は出来ません。

## ○病院所在地

新潟県妙高市大字田口147番地1

## ○病院理念

地域の皆様に安全で温かい医療を提供します。

## ○病院方針

- ◆ 患者さまの権利を尊重し、その時点で提供できる最も適切な医療の説明を行い、同意と選択に基づき診療を行います。
- ◆ 医療連携を重視して、地域完結型医療を行います。
- ◆ 福祉、行政関係者と連携し、疾病予防、プライマリケアからターミナルケアまで、地域の人々の健康維持、疾病治療に誠意をもってあたります。
- ◆ 妙高地域の病床の重要性を自覚し、この地域の医療に責任を持ちます。
- ◆ 在宅療養の環境整備に努力し、訪問診療を積極的に行います。
- ◆ チーム医療を重視し、継続性のある安全良質の医療を提供します。
- ◆ 職員は、医療や看護、介護の知識や指導力を高い水準に保つために、常に研修と努力をします。



# 新潟県立中央病院



## 病院データ

- 開設者 新潟県
- 院長 田部 浩行
- 薬剤部長 手塚 真弓
- 病床数 530床
- 診療科目 内科、消化器内科、循環器内科、脳神経内科、小児科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、眼科、泌尿器科、皮膚科、形成外科、麻酔科、放射線科、精神科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科
- その他 地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院などの指定を受け、2次医療圏である上越地域の医療を支えるため、多くの役割を担っています

## ○病院所在地

新潟県上越市新南町205番地



## ○病院理念

県民に信頼され地域とともに歩む病院

## 病院方針

- ◆ 病院を利用される方一人一人の権利を尊重します。
- ◆ 救急医療と高度先進医療を提供します。
- ◆ 思いやりのある安全な医療・看護を推進します。
- ◆ 地域の医療施設・介護施設や自治体と連携し、地域住民の保健・医療・福祉の増進を図ります。
- ◆ 研究・研鑽につとめ次世代の人材を育成します。

## 福田 病棟業務 勤務年数: 5年

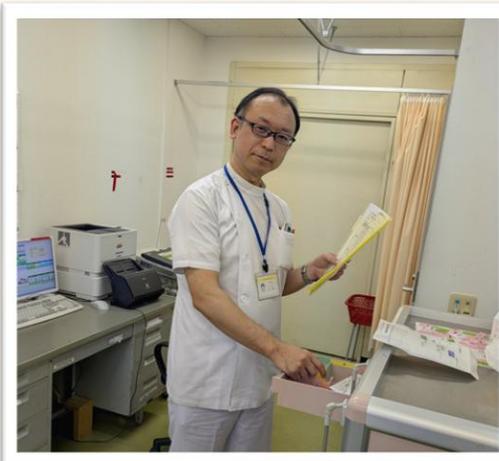
当院に配属されてから主に病棟業務を担当しており、医師や看護師など他の医療従事者とともに、入院患者さんの治療に携わってきました。専門的な薬も多く覚えることが大変ですが、退院される患者さんから感謝の意を受け取ることがあり、そこにやりがいを感じています。

また、専門分野の1つである感染対策業務も務めており、興味がある分野について日々勉強しながら業務を行っています。





# 新潟県立柿崎病院



医療・介護・福祉の連携を大切に、あなたの「気づき」を地域の「やさしさ」に変えられる、チーム医療の醍醐味がここにはあります。

私たちと一緒に「もっと身近な医療」を創っていきませんか？

## ○病院所在地

新潟県柿崎区柿崎6412-1

## ○病院理念

### 地域とともに、やさしさで支える医療を

医療をもっと身近に、もっとやさしく。

私たちは、地域の一員として、患者さん一人ひとりに寄り添いながら、医療と介護、福祉の連携を大切に、安心して暮らせる地域づくりに貢献していきます。

## 病院データ

- 開設者 新潟県
- 院長 太田 求磨
- 薬剤部長 大滝 一春
- 病床数 55床
- 診療科目 内・脳内・外・整形・脳外・皮膚・婦・眼・耳・リハ



# 新潟県立十日町病院



## ○病院所在地

新潟県十日町市高田町3丁目南32番地9

## ○病院理念

「生命の尊厳 信頼と安心の病院」を目指して

## ○基本方針

- ・患者さんを中心とする医療の展開と安全管理につ努めます。
- ・高度医療の充実と、救急救命医療の機能強化に努めます。
- ・地域の中核的な病院として、他の医療施設との連携に努めます。
- ・優しさと思いやりのある接遇と医療技術の研鑽に努めます。
- ・安らぎと潤いのある療養環境の提供に努めます。
- ・自己改善に積極的に取り組み、経営の健全化に努めます。

## 薬剤部 病棟担当 原田



当院は幅広い症例を経験できることに加え、他職種との連携が取りやすい環境が魅力的だと感じています。

困ったときには相談しやすい雰囲気があり、先輩方から多くを学びながら成長できる職場です。若手でも意見を伝えやすく、チームの一員として医療に関われることがやりにがいに繋がっています。

病院薬剤師は、患者さんの治療に深く関わることができる責任ある仕事です。その分、大きなやりがいも感じられます。不安に思うこともあるかもしれませんが、支えあいながら成長できる環境があります。ぜひ一緒に学び、医療に貢献していきましょう。

## 病院データ

- 開設者 新潟県
- 院長 清崎 浩一
- 薬剤部長 山田 宜和
- 病床数 250床
- 診療科目 内・脳内・小・外・消外・整形・脳外・皮膚・泌尿・産婦・眼・耳・リハ・放・口外・麻酔



# 新潟県立精神医療センター



当院薬剤部における  
勤務の様子

## ○病院所在地

〒940-0015 新潟県長岡市寿2丁目4番1号

## ○病院理念

精神医療の基幹病院として県民に信頼される医療を実現する。

- (1) 人権の尊重に努める。
- (2) 患者本位の医療を行う。
- (3) 明るく、地域に開かれた医療を目指す。
- (4) 社会復帰の促進を図る。

## 病院方針

- (1) 告知及びインフォームドコンセントの徹底
- (2) 精神科リハビリテーションの充実と向上
- (3) 早期社会復帰の推進
- (4) 多様化する精神障害者の治療及び精神科救急の積極的推進
- (5) 関係機関等との密接な連携
- (6) 医療事故防止と的確な管理体制の確立
- (7) 病院経営の健全化

## 薬剤部長からのメッセージ

- 心の薬物療法、その「深さ」と「広さ」  
をここで学ぶ。

精神科の薬剤師に求められるのは、  
数値だけでは測れない「患者様の変化」を  
感じ取る力です。

- 当院は県立病院群の中でも精神科に特化した環境にあり、多職種チームの一員として、  
また一人の専門職として、深く治療に関わることが出来ます。

- もちろん、県立病院の一員として他施設への異動もあります。  
しかし、当院で培う「対話を通じたモニタリング力」や「精神科の高度な知見」は、将来どの病院へ行ってもあなたの強力な武器になるはずです。  
専門性を突き詰めたいあなたと、公営の安心感の中で共に成長できる日を楽しみにしています。



丸山薬剤部長

## 病院データ

- 開設者 新潟県
- 院長 細木 俊宏
- 薬剤部長 丸山 一郎
- 病床数 400床
- 診療科目 精神科、児童精神科、内科、歯科
- 年間患者数（令和6年度 延べ数）入院4,5165人 外来21,433人



# 新潟県立津川病院

～薬剤部 集合～



～ある日の勤務風景～

こんにちは 津川病院の薬剤師の吉野です。  
津川は自然豊かな土地柄で、愛着を感じ、癒される毎日です。

県立病院は…「専門医療から地域医療まで」  
→だからこそ、いろいろな経験ができる  
と思います。

県立病院は…「異動があります」  
→だからこそ、いろいろな人・地域・文化  
との出会いがあり、人間性が育まれる  
と思います。

たくさんの可能性にチャレンジして、理想の“わたし”を一緒に見つけましょ  
う！



○病院所在地:新潟県東蒲原郡阿賀町津川200

○病院理念

私たちは良質な医療及びケアを提供し、地域医療の充実と  
発展に努めます

【病院基本方針(一部抜粋)】

- ◆ 入院医療を核として、すべてのプライマリケア及び全人的医療を  
目指します
- ◆ 保健・福祉・医療の連携に基づく多職種協働チームにて、皆様の  
生活をやさしくサポートします。
- ◆ 新潟二次医療圏の医療機関等との連携を強化し、高度専門医  
療の提供確保に努めます

## 病院データ

- 開設者 新潟県
- 院長 原 勝人
- 薬剤部長 吉野 真樹
- 病床数 42床 (急性期病床14床、地域包括ケア病床28床)
- 診療科目 内科、外科ほか 診療科
- 1日平均患者数 入院30.1人、外来100.9人 (令和7年12月末累計)

# 新潟県立がんセンター 新潟病院



## 大平 直樹(薬剤師10年目)

業務内容：病棟薬剤業務（血液内科・小児思春期血液腫瘍科 病棟）  
資格：日病薬病院薬学認定薬剤師、がん専門薬剤師

「がん専門薬剤師は最初からがん治療に興味がある」と言われることが多いですが、私はがんセンターに赴任する前は、がん領域に苦手意識を持っていました。しかし、がん治療について学ぶ中で次第に興味が深まり、専門資格の取得を目指すようになりました。専門資格の取得までの道のりは決して平坦ではありませんでしたが、諸先輩方からの的確なアドバイスや支えにより、乗り越えることができました。特に、初めての臨床研究を一人で行うことは非常に大変でしたが、先輩薬剤師とともに臨床研究や論文執筆に取り組む中で、多くのことを学ぶことができました。新潟県立病院では、「がん」領域に限らず、多様な疾患や業務を経験することができます。さらに、各分野で活躍する先輩薬剤師が多く在籍しており、薬剤師としての基礎を身に付けながら、自身の興味のある分野を見つけ、深めていくことが可能です。新潟県立病院で、ジェネラリストとしての力を養い、さらにはスペシャリストを目指してみませんか。

○病院所在地：新潟市中央区川岸町2-15-3

○病院理念

**県民をはじめとする全ての患者さんに、最善のがん医療を提供します。**

病院方針：①常に診療情報を開示して、患者さんと信頼関係を最も大切にします。

②がん診療連携拠点病院として、すべての医療機関と連携を密にします。

③がんの研究を行うとともに、患者さんのための医療人の育成に努めます。

④病院運営の適正化と効率化に努めます。

病院データ

- ・ 開設者：新潟県
- ・ 院長：田中 洋史
- ・ 薬剤部長：青柳 和代
- ・ 病床数：367床（8病棟）
- ・ 診療科目：内、消内、精神、脳内、緩内、小、外、消外、乳外、整形、脳外、呼外、形成、頭頸外、皮膚、泌尿、婦、眼、リハ、放診、放治、病理、口外、麻酔（全24科）
- ・ 薬剤部職員数：正規薬剤師23名、臨時薬剤師2名、事務員4名、治験看護師4名

**・安全で質の高い薬物療法の提供に貢献するため、日々研鑽を積み下記薬剤師が在籍しています。**

日本医療薬学会がん指導薬剤師1名・専門薬剤師4名、日本緩和医療薬学会緩和薬物療法薬剤師2名、麻薬教育認定薬剤師1名、日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師6名、術後疼痛管理研修修了者5名、NST専門療法士5名、小児薬物療法認定薬剤師1名、漢方薬・生薬認定薬剤師1名、医療安全管理者養成研修修了者4名

**・当薬剤部は下記認定施設として、薬学教育・専門薬剤師育成に取り組んでいます。**

日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設（基幹施設）

日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（基幹施設）

日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師研修施設

薬学生実務実習受入施設



# 新潟県立新発田病院

## ○病院所在地

新潟県新発田市本町1丁目2番8号

## ○病院理念

県北の急性期高度医療を担い、質の高い医療を提供します。

## 病院方針

県北における県立病院としての役割を認識し、  
救急医療の強化及び高度医療の充実を図ります。



## 病院データ

- 開設者：新潟県
- 院長：田中 典生
- 薬剤部長：村山 貴子
- 病床数：530床(一般：481床、精神：45床、感染：4床)
- 診療科目：内科、消化器外科、リウマチ科など25診療科目



## メッセージ 古山 佳奈 (令和6年度採用)

新発田病院では、入職から2年間を新人研修期間として、半年ごとに部署を異動して一通りの業務を学びます。調剤室、薬品管理室、製剤室を経験した後、病棟業務が始まります。時間をかけて一つひとつの部署を経験できるため、しっかり業務が定着し、病棟業務前に基礎知識が身につく点が魅力だと思います。

私は現在、病棟業務を担当しています。患者さんから直接聞き取った情報をもとに評価を行い、他職種の方々と連携しながら治療に携わっています。リアルタイムで経過を確認し、介入できるところに病院薬剤師ならではのやりがいを感じています。まだまだ経験不足で対応に困ることもありますが、頼もしい先輩方に相談しながら少しずつ成長させてもらっています。

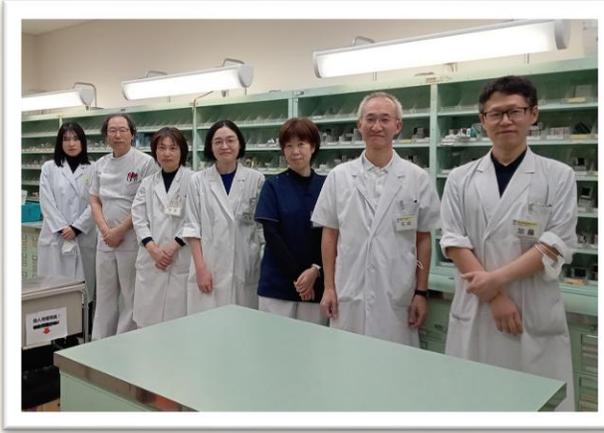
病院薬剤師は大変なこともありますが、その分やりがいのある仕事だと思います。薬剤師だけでなく、それぞれの視点を持った他職種が身近にいる環境は学ぶことがたくさんあります。最初は分からないことばかりでも、前向きに取り組む姿勢があれば、着実に成長できる環境だと思います。

新発田病院に興味を持たれた方は、気軽に見学にお越しください。そしてぜひ新発田病院で一緒に働きましょう。





# 新潟県立坂町病院



## ○病院所在地

新潟県村上市下鍛冶屋589番

## ○病院理念

### 地域住民に親しまれ信頼される病院

## 病院方針

- ◆ 患者様の権利の尊重と安全で良質な医療の実践
- ◆ 保健、医療、福祉との連携
- ◆ 向上心をもった医療人

## 病院データ

- 開設者 新潟県
- 院長 牧野 邦比古
- 薬剤部長 石田 正暁
- 病床数 99床
- 診療科目 内科、消化器内科、脳神経内科、外科、  
整形外科、小児科、皮膚科、泌尿器科、眼科、  
耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、歯科

坂町病院では肺炎などの急性期治療から、治療後すぐに自宅や施設に帰ることのできない患者様の退院支援までを行っています。

認知症や複数の疾患をもつ高齢患者様が退院後も安心して暮らせるように、多職種が協力して活動しています。

高齢の患者様や他職種と関わる時は、相手の意図を正しく理解できているか・相手に正しく伝えられているかなどを意識したコミュニケーションを大切にしています。

